

# 第77回 実は隣のスゴイ人

曾於市内のスゴイ人にスゴイ人を紹介してもらうこのコーナー。前回のスゴイ人、丸山雄二さんにご紹介いただいたこの方は「空手を通して自身の鍛錬と青少年指導者としてスゴイ人」とのこと。

**今**回は、全日本空手道連盟系東会鹿児島支部の会長で末吉系東会スポーツ少年団で師範として小学生に空手の指導をされている木谷博雄さんにお話を伺ってきました。

木谷さんは末吉町深川のご出身で76歳。高校1年生の時に先輩に誘われて空手を始めました。高校3年生秋には教室を開き指導をしながら、自身も鍛錬をして実力をつけていきました。

20歳の時に鹿児島県大会に出場した木谷さん。決勝戦まで勝ち進みました。決勝戦では対戦相手と実力が拮抗し4度の引き分け。最後にはジャンケンで勝敗をつけることに。

「ジャンケンで勝って優勝したけど、俺はジャンケン大会をしに行ったんじゃないと思ったよ」

その後も大会に出場しながら指導や審判など空手に携わってきました。

指導の際には子ども達に「基本を大事にすること」を伝えていくという木谷さん。

「組手が好きだけど基本の型がで

きないと技が出せない。立ち方や技の受けや引き手の位置を覚えないと資格もとれません」

約60年間空手を続けていて45年前から末吉系東会スポーツ少年団で指導を行っています。

「空手を続けられているのは子ども達と組手をして、一緒に汗を流すのが楽しみだから」

一週間のうち4日は子ども達に指導。1日は始良市まで通い一般の人が集まる練習会に参加しています。

一方で今年3月までは曾於市スポーツ推進委員としても長く活動されていきました。活動期間34年間で、市主催の様々なスポーツ大会で運営のサポートを行ってきました。現在は退職していますが仕事は大工一筋。大工と空手はずっと続けてきたそう。

現在木谷さんが持つ資格は全日本空手道連盟の5段錬士と全日本空手道連盟系東会の7段錬士。7段錬士の取得者は鹿児島県内に2人しかいません。今後は7段教士さらには8段を目指すと話してくれました。

【今回のスゴイ人】  
末吉系東会スポーツ少年団師範  
きたにひろお  
木谷博雄さん



厳しくも

優しく

末吉系東会スポーツ少年団  
☎ 0986-76-4798 (木谷 博雄)  
■練習場所 末吉中学校体育館  
■練習日 毎週 月・火・水・金曜日  
■練習時間 午後7時30分～午後9時